



えほんだより

R5. 3. 23 賀茂保育園

今年度は、【絵本を通じ豊かな心を育てる】というテーマの下、日々の生活に絵本を取り入れてきました。コロナ拡大に伴い、絵本の貸し出しを一時中止するなどの対応もありましたが、保育園生活の中では、例年以上に絵本にふれることができた1年になったのではないかと思います。来年度以降も、絵本を活用した保育のさらなる発展を目指していきます！

♡絵本に夢中♡

絵本を保育に取り入れてきた中で、どんな成果があったか、各クラス担任にインタビューをしてみました🎤【各年齢で一番人気の絵本も紹介します】



いちご組



リズム感のある絵本に興味を持ちやすく、じーっと注目ができます。特に【だるまさんシリーズ】を繰り返し読み聞かせしていると、「どて」「にこ」「ぷっ」と言うと自然と体を動かして表現を楽しむようになりました。こういったところから表現の楽しさを感じることができるのだと思います。言葉の獲得などのきっかけにもしていきたいです。



みかん組



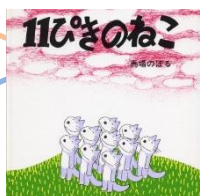
【ぞうくんのさんぽ】の読み聞かせをしました。同じ絵本を継続して読み聞かせしていくことで、発語につながったり、模倣につながったりしたので、同じ絵本を繰り返し読み聞かせすることも大切だと感じます。また、それを発表会や日常の遊びの中に取り入れましたが、絵本の中で親しみが持っているため、子どもたちの関心を引きやすかったと感じました。



もも組



お月見のお話から【おむすびころりん】に発展し、♪おむすびころりん すっとなんたん♪の歌に親しみをもち、表現が豊かになりました。運動会や発表会にも用いることで、表現が自信につながったり、嫌いな野菜を食べられるようになったり、絵本が生活の中でも良い影響を引き出してくれました。



たんぽぽ組



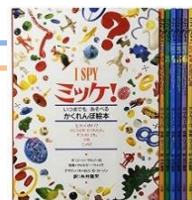
ストーリー性のある絵本から、先を予測し「○○じゃないかな？」などイメージを膨らませたり、絵本の中から得た知識を、現実世界でも活かしたり、子どもたちにとって絵本は学びの場になっています。また【11匹のねこシリーズ】のように、気に入った登場人物を模倣し、表現力が高まっていくのも、絵本のいいところですね。



ちゅうりっぷ組



【ポッポポーン】や【どうぞのいす】などストーリーがある程度イメージできるようになる年齢で、それが物事への関心や様々な言葉の獲得につながりました。また登場人物への関心が、感情移入につながったり、人への関心にもつながっていくことを実感しました。いつもと違う人に、絵本を読んでもらうことも、子どもたちには新鮮で、同じ絵本でも違う絵本のように感じられるところも素敵な部分だと思います。



さくら組



絵本を通して、文字への関心がより深まり、文字の読み書きにつながりました。また【ミッケシリーズ】を通して、間違い探しなどを自分で作ったりするなど、イメージを膨らませる力が身についてきたと思います。友達との会話のやりとりにもつながっており、コミュニケーションツールとしても優秀です！

絵本にはチカラがあります！

【言葉や文字の獲得・コミュニケーションツール・心の安定剤・豊かな表現力】
子どもたちにたくさんの絵本との出会いの場をつくってあげたいですね！